

「薬剤性過敏症症候群の遺伝子多型解析」について

研究責任者 蒔田 泰誠
所属 理化学研究所統合生命医科学研究センター
ファーマコゲノミクス研究グループ

概要 (目的・利用方法を含む)

私たちは、薬疹関連遺伝子の研究を行っています。薬疹は、薬によって起こる副作用であり、皮膚の広い範囲が赤くなる、高熱 (38℃以上)、のどの痛み、目の充血、くちびるのただれなどの症状が見られます。重症の薬疹としては、Stevens-Johnson 症候群 (SJS)、中毒性表皮壊死症 (TEN)、薬剤性過敏症症候群 (DIHS) などが知られていますが、これらの薬疹では、皮膚のみが障害されるだけでなく、しばしば、肝臓などの臓器障害を伴って重症化し、眼・肺などに後遺症が残ることがあります。

この研究では、薬疹という副作用が、生まれながらの体質と関係するかどうかを、血液などから取り出した遺伝子を調べることによって明らかにします。その成果をもとに、薬を服用する前に、薬疹のリスクを予測することにより、より安全で適切な薬物治療ができるようにすることを目指しています。

1. 研究の対象となる方

本研究は、以下の方を対象としております。

2002年～2022年において、3.の研究課題への参加に同意された方で、薬疹を起こした方、または同じ薬剤を服用し薬疹を起こさなかった方

2. 研究に用いる試料・情報の種類

DNA およびカルテより収集された臨床情報

3. 外部からの試料・情報の提供

本研究では、以下の研究課題において、共同研究機関で文書による同意の下、収集された試料・情報が、匿名化された上で理化学研究所に提供されます。

1) 厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)(重症多形滲出性紅斑に関する調査研究)

研究課題名:「薬疹の遺伝子多型解析」

2) 藤田保健衛生大学医学部精神神経科学

研究課題名:「抗てんかん薬に起因する副作用出現リスク解明を目指した遺伝子研究」

3) 北海道大学病院 皮膚科

研究課題名:「自己免疫性水疱症の発症メカニズムの解明」

4) 国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター

研究課題名:「ナショナルセンター・バイオバンクの検体収集の構築」

4. 外部への試料・情報の提供

研究に用いる試料は、本研究用に割り振られた匿名化番号を使って管理しています。提

供された試料・情報を用いた解析は、特定の関係者以外はアクセスできない状態で実施しています。個人別の解析データは、外部ネットワークから切り離されたコンピュータで厳重に管理されています。個人別または集団としての結果を、3.の共同研究機関に提供しています。

5. 研究期間

2009年7月31日～2022年3月31日

6. 研究組織

1) 厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)(重症多形滲出性紅斑に関する調査研究)に参加する診療科において、1.に記載された症例に対して、2.に記載された試料・情報を収集します。

事務局: 島根大学医学部皮膚科

代表者: 森田 栄伸

2) 藤田保健衛生大学医学部精神神経科学において、1.に記載された症例に対して、2.に記載された試料・情報を収集します。

代表者: 岩田 仲生

3) 北海道大学病院 皮膚科において、1.に記載された症例に対して、2.に記載された試料・情報を収集します。

代表者: 氏家 英之

4) 国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンターにおいて、1.に記載された症例に対して、2.に記載された試料・情報を収集します。

代表者: 後藤 雄一

7. 研究参加の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方が研究参加を拒否される場合は、研究対象から取り除きますので、以下の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、お申し出をいただいた時点で、既に解析が進んでいる場合や論文化されている場合には、研究対象から取り除くことができない場合があることをご了承ください。

8. お問い合わせ先

<お問い合わせおよび研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者: 蒔田 泰誠

所属: 理化学研究所統合生命医科学研究センター
ファーマコゲノミクス研究グループ

電話番号: 045-503-9597

住所: 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-7-22